

科目名	美術 I	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間 (単位数×35)
-----	------	-----	------	---------	----------------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。美に関する関心を高め、作品の美しさを感じ取る力や表現する力をつけ、創造する喜びを味わう。 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の向上を図る。
使用教科書・副教材等	「美術 I」(光村図書) アクリル絵具、筆、MDF材、和紙、ケント紙、タブレット機器、軽量紙粘土

☆学習計画および評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	技能の観察と知識の理解度(教科書から美術の基礎を学び、制作を通して理解を深める。) スケッチ、下図(知識・技能) 本作品(知識・技能) 作品を期限までに仕上げ、提出する。必要な資料、材料等の準備は積極的に行う。授業後の片づけ、物品の管理に努める。(40%)	レポート(思考・判断・表現) 鑑賞時には自分の思考や感じ方を積極的に述べるよう努める。幅広く美術に関心をもち、感性を働かせて、美しく創造的な表現や材料・用具を生かす判断や表現をする。思考・判断・表現の向上のため、自然や人間、文化などの理解等に努める。(30%)	出欠席の記録 観察の記録) ①統率・指導力「何を理解しているか、何ができるか」 ②意欲・関心・積極性「理解していること、できることをどう使うか」 ③態度・姿勢「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」(30%)

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第1学期	オリエンテーション	4	オリエンテーション ・学習の内容と心構えを理解している。	28時間
	鉛筆デッサン 球体、円柱、立方体	5	鉛筆デッサン ・デッサンを行い、基本的な描写力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	
	人物画(点描)	6	人物画一点描一 ・点による明度表現を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	
	【知識・技能】 ○課題作品(80%) ○課題・授業プリント(20%)			
【思考・判断・表現】 ○課題作品(80%) ○実習・制作レポート(20%)				
【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題作品(50%) ○生徒による自己評価プリント(50%)				
【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し各観点を40%:30%:30%の割合で総括し、10段階評定とする。				
学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数

第2学期	色彩基礎 色相環 明度、彩度 配色理論	7	色彩基礎 ・簡単な実習を通して色のしくみを理解できている。作品に応じて色の組み合わせを意図的に使い分けることができる。	30時間
	レタリング レタリング基礎	8	レタリング ・レタリングの基礎を学習し、自分の名前を用い、各書体の点画を作品制作にいかされている。	
	明朝体・ゴシック体 欧文書体 オリジナル書体	9	ロゴマークデザイン ・架空の企業、団体、商品などを自ら立案・企画し、そのシンボルとなるロゴマークデザインを通して自らの思考がロゴマークに表現することができる。	
	ロゴマーク	10	マンガ制作（CGイラスト） ・マンガの模写を行い、基本的な描写力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	
	マンガ制作（CGイラスト）	11		
【知識・技能】 ○課題作品（80%） ○課題・授業プリント（20%）				
【思考・判断・表現】 ○課題作品（80%） ○実習・制作レポート（20%）				
【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題作品（50%） ○課題・授業プリント（50%）				
【2学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し各観点を40%：30%：30%の割合で総括し、10段階評定とする。				
学期	学習内容	月	学習のねらい（評価規準）	時数
第3学期	ワイヤーアート	12	ワイヤーアート ・線（銅線、アルミ線）を用いた立体作品制作を通し、 ・基本的な造形力を養い、 対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	12時間
	鑑賞	1	鑑賞 ・様々な作品鑑賞を行いながら、自己の鑑賞力、感性を深めることができる。	
		2		
【知識・技能】 ○課題作品（80%） ○課題・授業プリント（20%）				
【思考・判断・表現】 ○課題作品（80%） ○実習・制作レポート（20%）				
【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題作品（50%） ○課題・授業プリント（50%）				
【3学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し各観点を40%：30%：30%の割合で総括し、10段階評定とする。				
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の5段階評価とする。				